

大ナゲシ山行報告

【山行日】2022年 4月 30(土) 晴れ
【集 合】岩舟支所P AM 5:00
【費 用】マイカー2台 : 2,300円
【メンバー】CL:鈴木、SL:関
石澤、小松原、廣瀬、
【コースタイム】岩舟支所 P5:00 = 小倉沢
P7:40/8:00 ~ 赤岩峠 9:10/9:20 ~ 大ナゲシ
10:05/10:20 ~ 赤岩峠 11:00/11:40 ~ 赤岩岳
12:10/12:30 ~ 赤岩峠 12:55/13:05 ~ 小倉沢
P13:40/13:50 = 道の駅「大滝」14:25/14:35
= 道の駅「はなぞの」15:45/16:00 =
岩舟支所 P17:35



大ナゲシと赤岩岳で見たアカヤシオの花が忘れられず、もう一度見たいと思い計画した。岩舟支所を5時に出発し国道50号線から裏道を通り、大泉町を抜けて刀水橋から国道407号を進む。



熊谷市から国道140号を進み、奥秩父もみじ湖から県道210号さらに林道金山志賀坂線を通って小倉沢集落に着く。小倉沢集落はすでに無人化しており、入口にはクサリが張られていた。カーブの広い路肩に車を止め、準備を整えてストレッチを行い出発する。廃墟となった集落を通り、『右・群馬県上野村ニ至ル』と彫られた石標から峠道を登り始める。すぐ先で沢に掛けられた細い橋を渡り、沢の右岸に付けられた道を登って行く。しばらくは樹林帯に付けられた道を、大きく九十九折れに登って

行く。やがて雑木林の小尾根を登るようになり、新緑の木々がため息が出るほど美しい。新緑の小尾根を緩やかに登って行き、傾斜がきつくなると九十九折れの道を登り赤岩峠に着く。小休止して果物や菓子を食べて、エネルギーを補給したら大ナゲシへ向かう。峠から西に向かってヤセ尾根を進み、1493m峰を右から巻くように進み針葉樹の小ピークを越えて行く。やがて岩場に突き当たり、正面の岩にロープが付けられているが信用できない。ガイドブックに書いてある左から巻くように登って行く。



クサリが付けられているが、ルートファインディングと岩登りの技術が要求されるルートだ。

西側が切れていて高度感があり、緊張する岩場を登り切ると樹林の尾根に着く。樹林の間にアカヤ



シオの花が見え、皆さんから綺麗と声が上が
る。上段の岩場は問題なく登れ、360度の眺
望が得られる大ナゲシ頂上に着く。頂上から
は赤岩岳から両神山や、奥秩父から西上州の
山々が一望のもとに見渡せる。アカヤシオの
花に彩られた山頂は、ここまで登って来た人し
か見られない絶景が広がっていた。皆さん絶
景をスマホに収め、頂稜の岩場に建って展望
を楽しんでいた。展望を楽しんだら往路を赤岩
峠まで戻り、ここでランチタイムとする。お湯を

沸かしてカップ麺やスープを作り、おにぎりやパンをいただく。ランチが済んだら東に稜線をわずかに進み、左に山腹をトラバースしてからルンゼを登る。ガレた急坂を岩や木の根を頼りに登り、一頑張り

で北陵のコルに出る。コルから右の岩稜に取り付、クサリヤロープは無いがホールドやスタンスはしっかり有り、慎重に登れば問題ない。ここからアカヤシオの花が出迎えてくれ、「この景色が見たくて来たのです」と心の中で叫んだ。アカヤシオの岩稜を登ると赤岩岳山頂に着き、東へわずか尾根を行くと岩の小ピークがありここからの展望が素晴らしい。

しばらく展望を楽しんだら赤岩岳まで戻り、果物や菓子をいただく。ここから赤岩峠まで戻り、最後の休憩を取っておやつをいただき下山開始する。登山口まで50分の行程と伝え



ると、KM 原さんに「じゃあ30分ですね」と言われ我輩の闘志に火が付いた。超高速参勤交代で下って行き、35分で登山口の駐車スペースに着いた。KM 原さんが「余計なことを言わなければ良かった」とぼやいていた。

靴を履き替えたら帰路につき、中津峡の新緑を楽しみながら車を走らせる。

途中、道の駅「はなぞの」に寄って買い物し、予定通り岩舟支所に帰着した。